

つしん景況レポート

作州地域中小企業景況動向調査 2013. 4~6月期 第6回

【特別調査-中小企業における“本業”の現状と今後について】

津山信用金庫は、作州地域内の経営者のご協力のもと、第6回つしん景況レポートを発刊させていただきました。作州地域の景況感を経営者の皆様方と共有し、皆様方のよきパートナーとして地域の繁栄に努めてまいります。

■概況：4月～6月の業況は晴れ時々曇、7月～9月の見通しも晴れ時々曇■

【地域別天気図】	2012年 4月～6月	2012年 7月～9月	2012年 10月～12月	前期実績 1月～3月	今期実績 4月～6月	来期見通し 7月～9月
作州地域全体						
津山鏡野地域						
真庭地域						
美作勝央地域						

作州地域全体では、今期(2013年4月～6月)の業況判断DIはプラス17.8となり、前期比11.0ポイント上昇した。

来期(2013年7月～9月)はプラス26.5とさらに8.7ポイント改善する見通しとなっている。

地域別には、今期も全地域でプラスとなり、津山鏡野地域は前期比7.4ポイント上昇、真庭地域は前期比3.2ポイント上昇、美作勝央地域は33.3ポイント上昇した。来期も全地域でプラスの見通しとなっている。

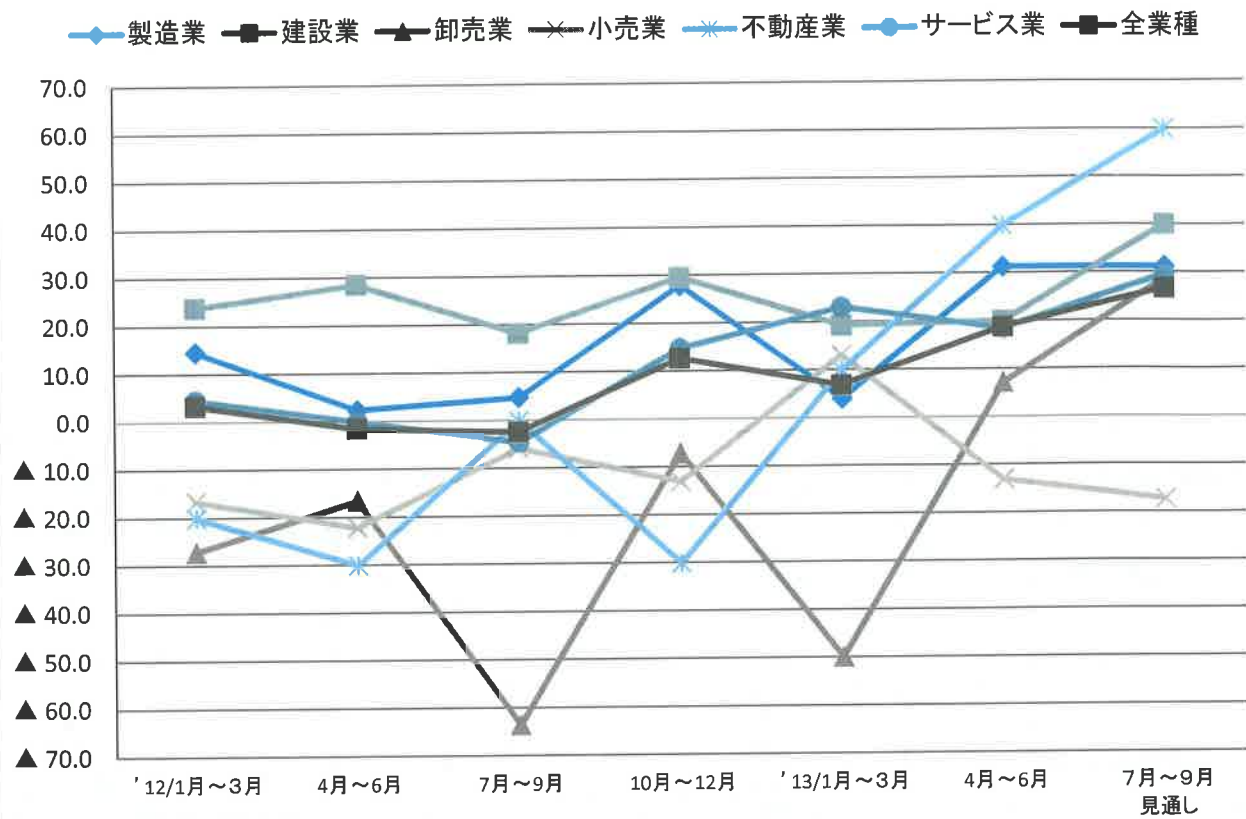
業況判断DI	前期	今期実績			来期見通し				
		DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い
作州地域全体	6.8	37.7	42.4	19.9	17.8	41.1	44.4	14.6	26.5
津山鏡野地域	5.5	35.5	41.9	22.6	12.9	44.1	44.1	11.8	32.3
真庭地域	9.7	35.5	41.9	22.6	12.9	41.9	35.5	22.6	19.3
美作勝央地域	7.4	48.1	44.4	7.4	40.7	29.6	55.6	14.8	14.8

※ DIとは、Diffusion Index の略で、「良い(または増加、上昇、楽)」と回答があった企業数の割合(%)から「悪い(または減少、下降、苦しい)」と回答があった企業数の割合(%)を差し引いた値

■天気図のご説明■

DI	30以上	10以上～ 30未満	0以上～ 10未満	Δ10以上 ～ 0未満	Δ30以上 ～ Δ10未満	Δ30未満
天気図						

業種別業況判断DIの推移



全業種	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	6.8	37.7	42.4	19.9	17.8	41.1	44.4	14.6	26.5
売上	5.4	41.1	36.4	22.5	18.6	38.4	44.4	17.2	21.2
収益	0.7	29.8	47.7	22.5	7.3	35.1	48.3	16.6	18.5

- 業況判断DIは、今期(2013年4月~6月)はプラス17.8となり、前期比11.0ポイント上昇した。来期(2013年7月~9月)見通しはプラス26.5となっている。
- 売上DIは、今期はプラス18.6となり、前期比13.2ポイント上昇した。来期見通しはプラス21.2となっている。
- 収益DIは、今期はプラス7.3となり、前期比6.6ポイント上昇した。来期見通しはプラス18.5となっている。

全業種	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足	DI	楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足
資金繰り	0.7	14.6	75.5	9.9	4.7	12.6	74.2	13.2	▲ 0.6
雇用(人手過不足)	▲ 18.3	6.6	64.9	28.5	▲ 21.9	5.3	64.2	30.5	▲ 25.2
設備投資	▲ 10.9	2.1	80.0	17.9	▲ 15.8	1.4	80.7	17.9	▲ 16.5

- 資金繰り判断DIは、今期(2013年4月~6月)はプラス4.7となったが、来期(2013年7月~9月)見通しはマイナス0.6となっている。
- 人手過不足判断DIは、今期はマイナス21.9となった。来期見通しはマイナス25.2となっている。
- 設備投資DIは、今期はマイナス15.8となった。来期見通しはマイナス16.5となっている。

■ 製造業 ■

製造業全般	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	4.1	47.1	37.3	15.7	31.4	43.1	45.1	11.8	31.3
売上	▲ 10.2	49.0	39.2	11.8	37.2	39.2	43.1	17.6	21.6
収益	▲ 10.2	37.3	51.0	11.8	25.5	35.3	45.1	19.6	15.7

- 製造業の業況判断DIは、今期(2013年4月～6月)プラス31.4となった。来期(2013年7月～9月)見通しはプラス31.3となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス37.2、来期見通しはプラス21.6となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス25.5、来期見通しはプラス15.7となっている。
- 今期は、金属製品製造業と農林業の大幅改善により、売上DIと収益DIはプラスとなった。

製造業のうち： 金属製品製造業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	18.2	45.5	36.4	18.2	27.3	45.5	45.5	9.1	36.4
売上	▲ 9.1	27.3	45.5	27.3	0.0	45.5	36.4	18.2	27.3
収益	▲ 36.4	18.2	63.6	18.2	0.0	54.5	27.3	18.2	36.3

- 金属製品製造業の業況判断DIは、今期(2013年4月～6月)はプラス27.3となった。来期(2013年7月～9月)見通しはプラス36.4となっている。
- 売上判断DIは、今期はゼロ、来期見通しはプラス27.3となっている。
- 収益判断DIは、今期は前期の利幅の縮小が改善されゼロ、来期は大幅改善の見通しでプラス36.3となっている。

製造業のうち： 木材・木製品製造業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	50.0	60.0	30.0	10.0	50.0	60.0	40.0	0.0	60.0
売上	▲ 10.0	40.0	50.0	10.0	30.0	40.0	50.0	10.0	30.0
収益	40.0	20.0	70.0	10.0	10.0	20.0	70.0	10.0	10.0

- 木材・木製品製造業の業況判断DIは、今期(2013年4月～6月)プラス50.0となった。来期(2013年7月～9月)見通しはプラス60.0となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス30.0、来期見通しはプラス30.0となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス10.0、来期見通しはプラス10.0となっている。
- 今期は、円安等で外材の仕入単価と販売単価が上昇し、国内材の単価も堅調に推移している。消費税の上げが予想される中、住宅着工戸数の増加により受注も増加している。

製造業のうち： 農林業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	▲ 40.0	36.4	36.4	27.3	9.1	36.4	45.5	18.2	18.2
売上	▲ 50.0	54.5	36.4	9.1	45.4	54.5	27.3	18.2	36.3
収益	▲ 60.0	45.5	36.4	18.2	27.3	45.5	27.3	27.3	18.2

- 農林業の業況判断DIは、今期(2013年4月～6月)プラス9.1となった。来期(2013年7月～9月)見通しはプラス18.2となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス45.4、来期見通しはプラス36.3となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス27.3、来期見通しはプラス18.2となっている。
- 農林業は、収穫期を迎え、売上・収益とも大幅に改善した。

■建設業■

建設業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	19.3	38.5	38.5	23.1	15.4	50.0	38.5	11.5	38.5
売上	19.3	50.0	26.9	23.1	26.9	57.7	34.6	7.7	50.0
収益	3.9	30.8	46.2	23.1	7.7	57.7	38.5	3.8	53.9

- 建設業の業況判断DIは、今期(2013年4月～6月)プラス15.4となった。来期(2013年7月～9月)見通しはプラス38.5となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス26.9、来期見通しはプラス50.0となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス7.7、来期見通しはプラス53.9となっている。
- 住宅建設を除く建設業の業況判断DIは、今期は公共工事の減少からマイナス7.1となり、前期比14.2ポイント下降した。来期見通しはプラス21.4となっている。

建設業のうち： 住宅建設	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	33.4	50.0	41.7	8.3	41.7	66.7	25.0	8.3	58.4
売上	41.7	66.7	25.0	8.3	58.4	75.0	25.0	0.0	75.0
収益	25.0	41.7	50.0	8.3	33.4	83.3	16.7	0.0	83.3

- 住宅建設業者の業況判断DIは、今期(2013年4月～6月)プラス41.7となった。来期(2013年7月～9月)の見通しはプラス58.4となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス58.4、来期見通しはプラス75.0となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス33.4、来期見通しはプラス83.3となっている。
- 業況の悪化を見込む企業の割合が低く、来期は売上・収益の減少を見込む企業はない。
- 消費税の引上げが予想される中、1月～4月の全国住宅着工戸数は前年比5%増加し、うち木造住宅は前年比9%の増加となっている。

■卸売業■

卸売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	▲ 50.0	35.7	35.7	28.6	7.1	35.7	57.1	7.1	28.6
売上	▲ 57.1	57.1	28.6	14.3	42.8	35.7	42.9	21.4	14.3
収益	▲ 50.0	50.0	35.7	14.3	35.7	35.7	50.0	14.3	21.4

- 卸売業の業況判断DIは、今期(2013年4月～6月)プラス7.1となった。来期(2013年7月～9月)見通しはプラス28.6となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス42.8、来期見通しはプラス14.3となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス35.7、来期見通しはプラス21.4となっている。
- 作州地域を商圏とする企業が多く、同業者の廃業や小売店、飲食店の廃業により経営環境が変化している企業が複数あった。
- また、小口注文・多頻度配送の増加を経営上の問題点としてあげる企業が複数あった。

■小売業■

小売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	13.0	21.7	43.5	34.8	▲ 13.1	26.1	30.4	43.5	▲ 17.4
売上	47.9	34.8	13.0	52.2	▲ 17.4	21.7	43.5	34.8	▲ 13.1
収益	39.1	21.7	26.1	52.2	▲ 30.5	13.0	52.2	34.8	▲ 21.8

●小売業の業況判断D Iは、今期(2013年4月～6月)マイナス13.1となった。来期(2013年7月～9月)見通しはマイナス17.4となっている。

●売上判断D Iは、今期マイナス17.4、来期見通しはマイナス13.1となっている。

●収益判断D Iは、今期マイナス30.5、来期見通しはマイナス21.8となっている。

●自動車小売業を除く小売業の業況判断D Iは、今期プラス21.4、来期見通しはマイナス14.3となっている。

小売業のうち： 自動車小売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	22.2	0.0	33.3	66.7	▲ 66.7	11.1	55.6	33.3	▲ 22.2
売上	33.3	22.2	22.2	55.6	▲ 33.4	11.1	66.7	22.2	▲ 11.1
収益	44.4	22.2	33.3	44.4	▲ 22.2	11.1	66.7	22.2	▲ 11.1

●自動車小売業の業況判断D Iは、今期(2013年4月～6月)マイナス66.7となった。来期(2013年7月～9月)見通しはマイナス22.2となっている。

●売上判断D Iは、今期マイナス33.4、来期見通しはマイナス11.1となっている。

●収益判断D Iは、今期マイナス22.2、来期見通しはマイナス11.1となっている。

●新車販売が多かった前期の反動で、今期の業況感は悪化している。

■不動産業■

不動産業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	10.0	50.0	40.0	10.0	40.0	70.0	20.0	10.0	60.0
売上	10.0	0.0	70.0	30.0	▲ 30.0	50.0	40.0	10.0	40.0
収益	0.0	0.0	70.0	30.0	▲ 30.0	60.0	30.0	10.0	50.0

●不動産業の業況判断D Iは、今期(2013年4月～6月)プラス40.0となった。来期(2013年7月～9月)見通しはプラス60.0となっている。

●売上判断D Iは、今期マイナス30.0、来期見通しはプラス40.0となっている。

●収益判断D Iは、今期マイナス30.0、来期見通しはプラス50.0となっている。

●農地転用許可が難しく、宅地分譲用地が確保できないとの声が複数あった。

●事業の引継ぎでは、廃業を選択肢とする割合が他業種に比べて高くなっている。

■サービス業■

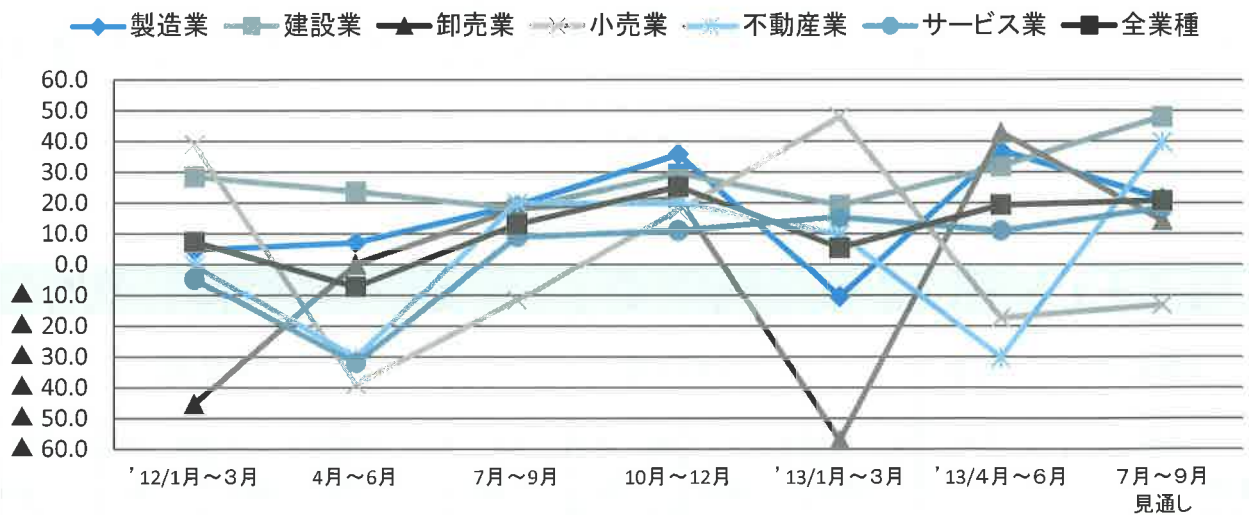
サービス業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	23.1	29.6	59.3	11.1	18.5	33.3	63.0	3.7	29.6
売上	15.4	29.6	51.9	18.5	11.1	29.6	59.3	11.1	18.5
収益	11.5	22.2	59.3	18.5	3.7	22.2	66.7	11.1	11.1

- サービス業の業況判断DIは、今期（2013年4月～6月）プラス18.5となった。来期（2013年7月～9月）見通しはプラス29.6となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス11.1、来期見通しはプラス18.5となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス3.7、来期見通しはプラス11.1となっている。

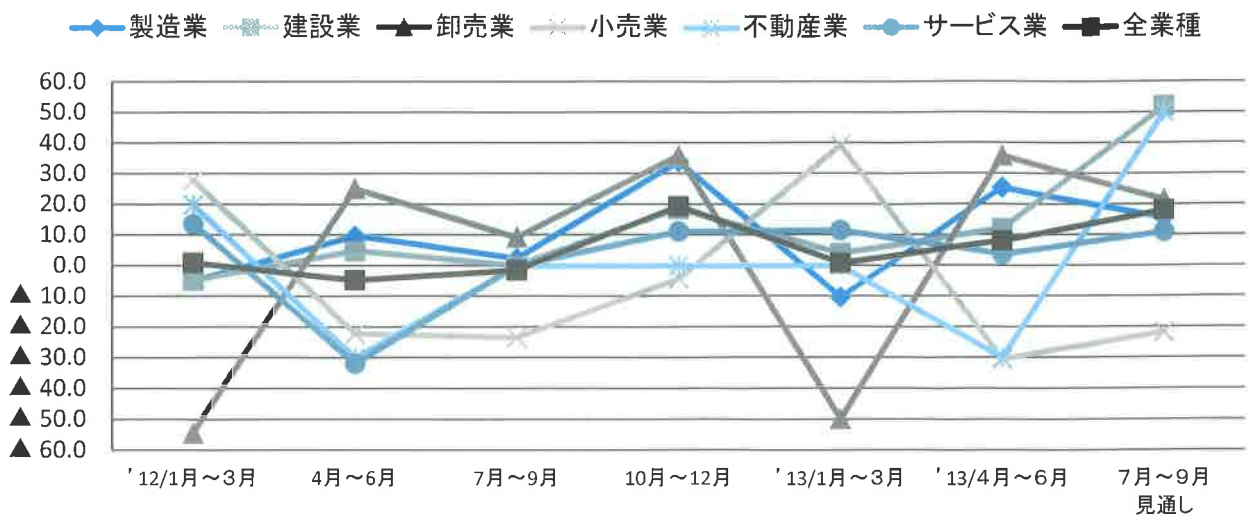
サービス業のうち： 医療福祉業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	36.4	25.0	66.7	8.3	16.7	33.3	66.7	0.0	33.3
売上	27.3	33.3	50.0	16.7	16.6	41.7	58.3	0.0	41.7
収益	18.2	16.7	66.7	16.7	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0

- 医療福祉業の業況判断DIは、今期（2013年4月～6月）プラス16.7となった。来期（2013年7月～9月）見通しはプラス33.3となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス16.6、来期見通しはプラス41.7となっている。
- 収益判断DIは、今期ゼロ、来期見通しは25.0となっている。
- 来期は、業況の悪化、売上・収益の減少を見込む企業はなかった。

業種別売上判断DIの推移



業種別収益判断DIの推移



■ 昨年同期比較売上高・収益 ■

業種別	増加	変わらず	減少	DI
製造業	47.1	27.5	25.5	21.6
建設業	57.7	38.5	3.8	53.9
卸売業	35.7	42.9	21.4	14.3
小売業	39.1	30.4	30.4	8.7
不動産業	20.0	80.0	0.0	20.0
サービス業	48.1	25.9	25.9	22.2
総計	45.0	34.4	20.5	24.5

業種別	増加	変わらず	減少	DI
製造業	45.1	29.4	25.5	19.6
建設業	53.8	38.5	7.7	46.1
卸売業	28.6	50.0	21.4	7.2
小売業	17.4	47.8	34.8	▲ 17.4
不動産業	20.0	80.0	0.0	20.0
サービス業	40.7	29.6	29.6	11.1
総計	38.4	39.1	22.5	15.9

業種別	増加	変わらず	減少	DI
卸売業	14.3	85.7	0.0	14.3
小売業	21.7	56.5	21.7	0.0
総計	18.9	67.6	13.5	5.4

- ① 昨年同期(2012年4月～6月)比較での売上高DIは、すべての業種でプラスとなり、全業種でプラス24.5となった。
- ② 昨年同期比較収益DIは、小売業を除く業種でプラスとなり、全業種でプラス15.9となった。
- ③ 昨年同期比較販売価格DIは、卸売業はプラス14.3、小売業はゼロとなった。
- ④ 不動産業では売上高DIと収益DIで減少と回答した企業はなかった。
- ⑤ 卸売業の販売価格DIで減少と回答した企業はなかった。

■ 販売価格 ■

販売価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降
製造業	6.1	11.8	76.5	11.8	0.0	23.5	74.5	2.0	21.5
建設業	0.0	7.7	88.5	3.8	3.9	15.4	80.8	3.8	11.6
卸売業	7.2	14.3	78.6	7.1	7.2	28.6	71.4	0.0	28.6
小売業	30.5	13.0	69.6	17.4	▲ 4.4	17.4	78.3	4.3	13.1
不動産業	▲ 10.0	10.0	80.0	10.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
サービス業	▲ 3.9	7.4	92.6	0.0	7.4	3.7	92.6	3.7	0.0
総計	6.1	10.6	80.8	8.6	2.0	16.6	80.8	2.6	14.0

● 販売価格DIは、今期は、全業種でプラス2.0となった。来期見通しは、販売価格の下降を予想する企業は少なく全業種でプラス14.0となっている。

■ 仕入価格 ■

仕入価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降
製造業	18.4	33.3	60.8	5.9	27.4	31.4	66.7	2.0	29.4
建設業	27.0	38.5	61.5	0.0	38.5	42.3	57.7	0.0	42.3
卸売業	14.3	21.4	78.6	0.0	21.4	35.7	64.3	0.0	35.7
小売業	34.8	21.7	73.9	4.3	17.4	13.0	87.0	0.0	13.0
不動産業	▲ 10.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
サービス業	19.2	14.8	81.5	3.7	11.1	11.1	81.5	7.4	3.7
総計	20.2	25.8	70.9	3.3	22.5	25.2	72.8	2.0	23.2

● 仕入価格DIは、今期は、前期に引き続き仕入価格上昇の回答が多く、全業種でプラス22.5となった。来期見通しも全業種でプラス23.2となっている。

■在庫■

在庫DI	前期	今期実績				来期見通し			
		業種別	DI	過剰傾向	適正	不足傾向	DI	過剰傾向	適正
製造業	2.0	7.8	86.3	5.9	1.9	7.8	88.2	3.9	3.9
建設業	3.9	11.5	88.5	0.0	11.5	7.7	92.3	0.0	7.7
卸売業	0.0	14.3	85.7	0.0	14.3	7.1	85.7	7.1	0.0
小売業	17.4	17.4	69.6	13.0	4.4	13.0	82.6	4.3	8.7
不動産業	▲ 20.0	30.0	50.0	20.0	10.0	30.0	50.0	20.0	10.0
総計	3.3	12.9	80.6	6.5	6.4	10.5	84.7	4.8	5.7

●在庫DIは、今期は全業種でプラス6.4となった。来期見通しは、全業種でプラス5.7となっている。製造業、不動産業で在庫を適正とした企業の割合が増加し全業種で8割を超えた。

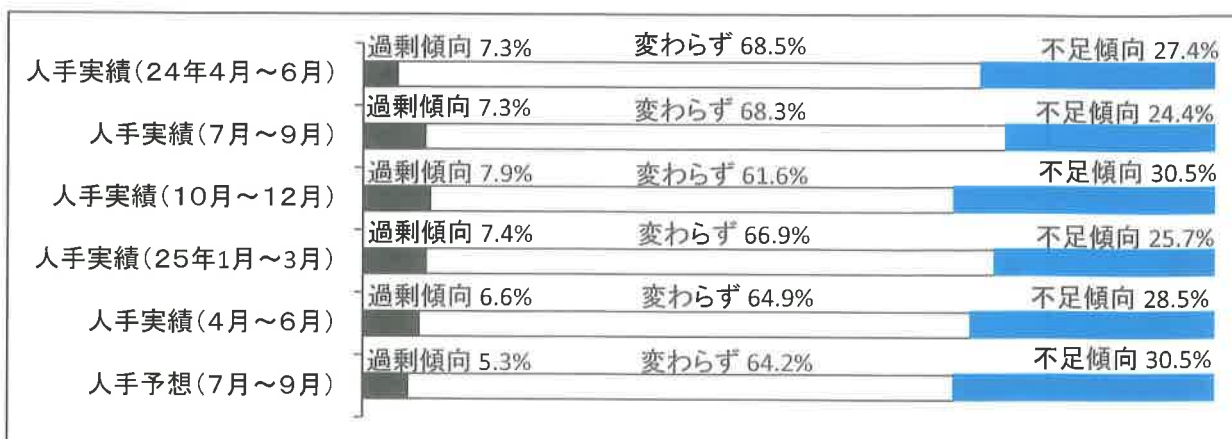
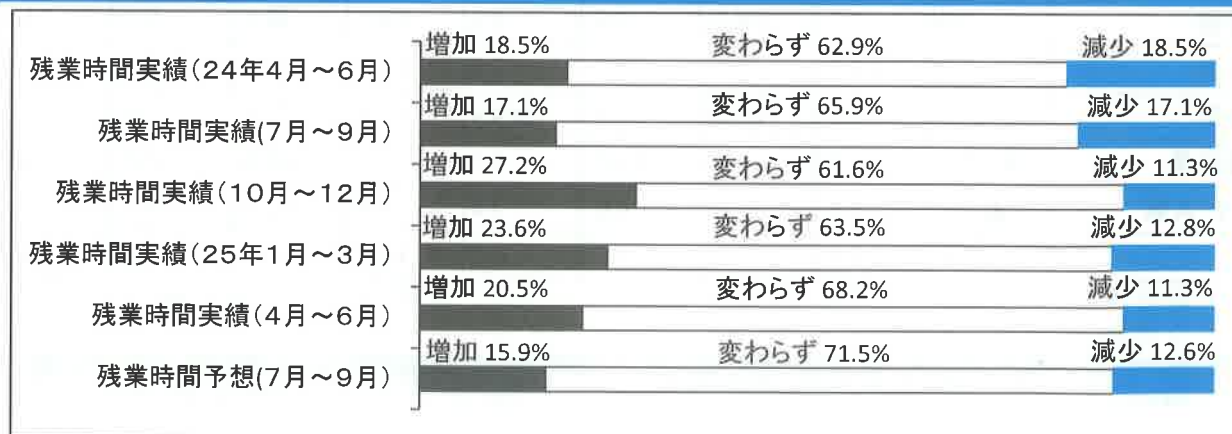
■受注残■

受注残DI	前期	今期実績				来期見通し			
		業種別	DI	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず
製造業	14.3	33.3	52.9	13.7	19.6	33.3	52.9	13.7	19.6
建設業	11.5	38.5	34.6	26.9	11.6	65.4	26.9	7.7	57.7
総計	13.3	35.1	46.8	18.2	16.9	44.2	44.2	11.7	32.5

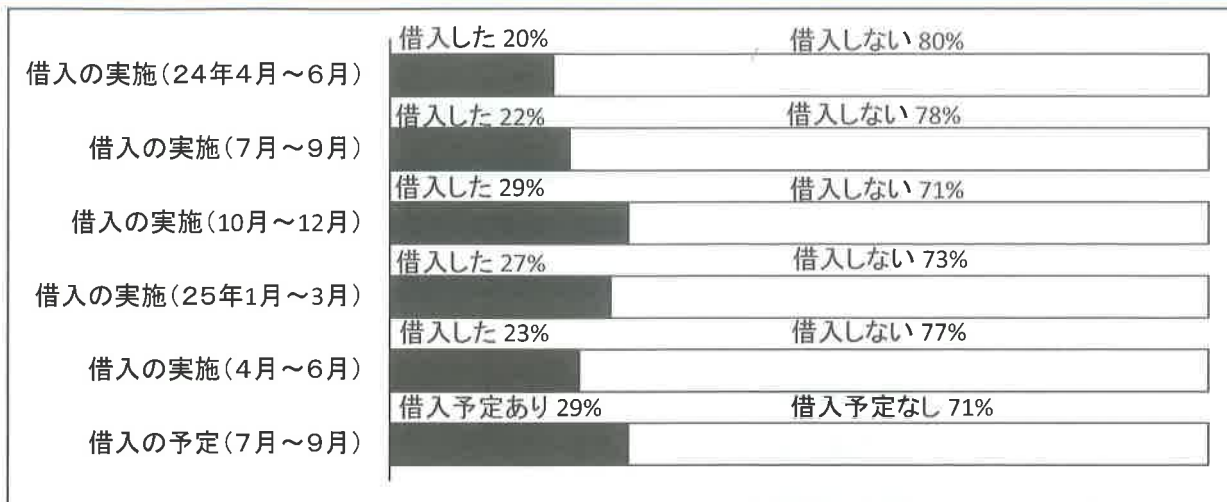
●製造業の受注残DIは、今期は前期比5.3ポイント上昇し、プラス19.6となった。来期見通しもプラス19.6となっている。

●建設業の受注残DIは、今期は前期比0.1ポイント上昇し、プラス11.6となった。来期見通しは公共工事の受注を予想する企業が多く、プラス57.7となっている。

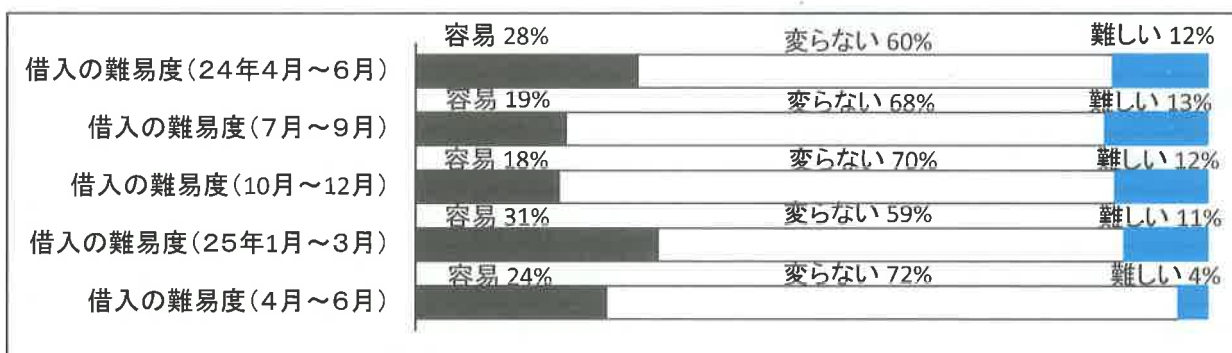
■雇用面の動き■



■借入金の動き・難易度■



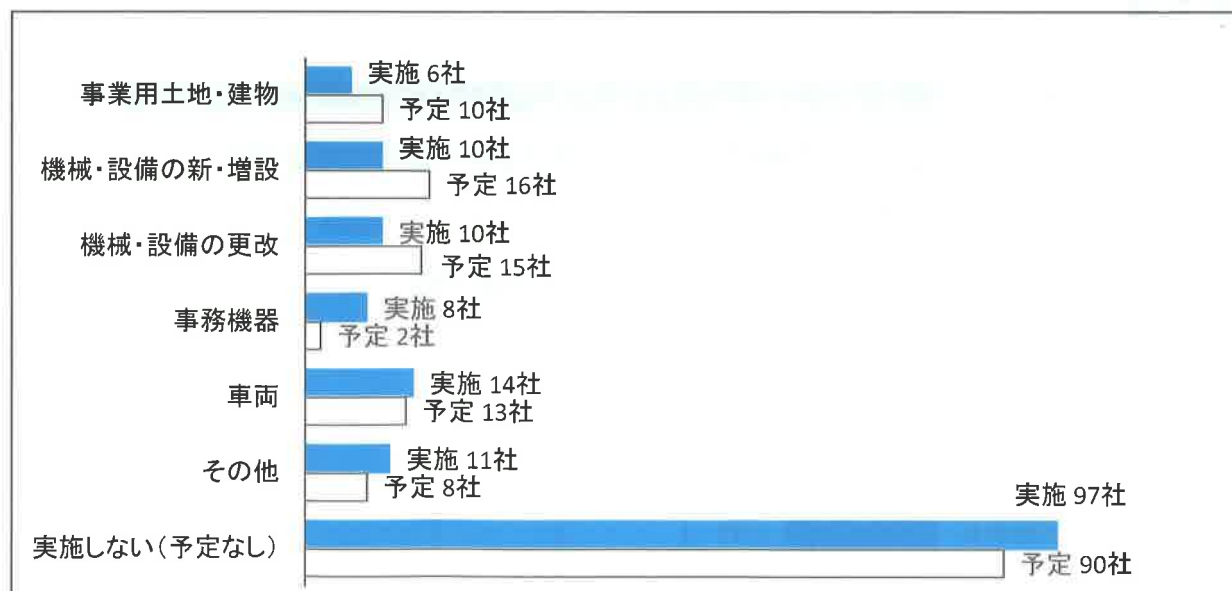
●借入金の実施(25年4月～6月)と予定(25年7月～9月)をしている企業の割合は、昨年同期対比増加となった。



●借入金の難易度(25年4月～6月)は、『難しい』と回答した企業の割合が減少した。

■設備投資の実施(25年4月～6月)と予定(25年7月～9月)■

●全業種(除く不動産業:有効回答計141社)

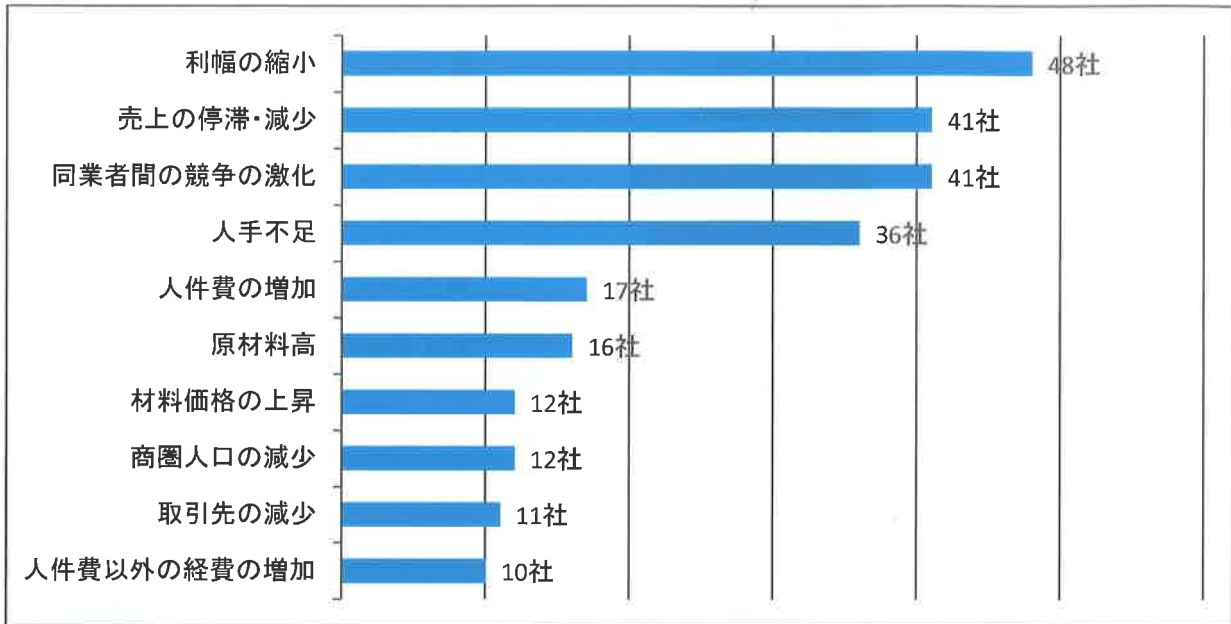


●設備投資の実施(25年4月～6月)は、実施しない企業の割合が69%であった。

●設備投資の予定(25年7月～9月)は、予定なしの企業の割合が64%であった。

■ 経営上の問題点 ■

● 全業種

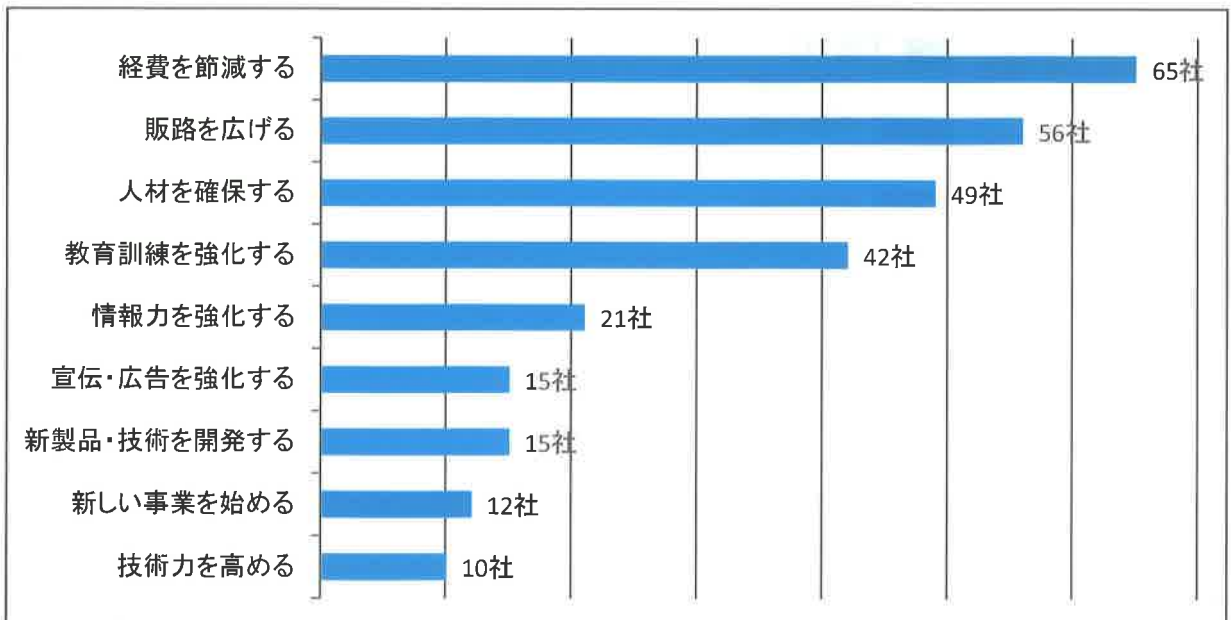


● 業種別

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	原材料高	14.2	同業者間の競争の激化	13.8	利幅の縮小	20.0	売上の停滞・減少	16.7	利幅の縮小	31.8	人手不足	19.0
2位	売上の停滞・減少	11.5	材料価格の上昇	13.8	売上の停滞・減少	17.1	利幅の縮小	16.7	商品物件の不足	18.2	人件費の増加	12.7
3位	利幅の縮小	9.7	人手不足	13.8	取引先の減少	14.3	商圏人口の減少	16.7	同業者間の競争の激化	18.2	同業者間の競争の激化	11.1
4位	人手不足	7.1	利幅の縮小	12.3	同業者間の競争の激化	14.3	同業者間の競争の激化	13.3	その他	13.6	店舗・設備の狭小・老朽化	7.9
5位	同業者間の競争の激化	7.1	売上の停滞・減少	9.2	小口注文・多頻度配送の増加	8.6	人手不足	8.3	代金回収の悪化	4.5	売上の停滞・減少	7.9

■ 当面の重点経営施策 ■

● 全業種



●業種別

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	販路を広げる	19.5	販路を広げる	16.7	販路を広げる	26.5	経費を節減する	21.1	情報力を強化する	26.9	人材を確保する	20.3
2位	経費を節減する	15.0	人材を確保する	16.7	経費を節減する	20.6	教育訓練を強化する	19.3	販路を広げる	15.4	経費を節減する	20.3
3位	新製品・技術を開発する	13.3	経費を節減する	16.7	教育訓練を強化する	11.8	宣伝・広告を強化する	14.0	経費を節減する	11.5	教育訓練を強化する	14.9
4位	人材を確保する	13.3	技術力を高める	15.2	情報力を強化する	8.8	売れ筋商品を取り扱う	14.0	宣伝・広告を強化する	11.5	販路を広げる	13.5
5位	教育訓練を強化する	8.8	教育訓練を強化する	7.6	人材を確保する	8.8	仕入先を開拓・選別する	10.5	不動産の有効活用を図る	11.5	技術力を強化する	10.8

■調査員の調査コメントから■

○今回の調査では、多くの経営者がアベノミクスにより景況感はよくなるだろうと感じている。4月より売上が増加した、円安により販売単価が上昇し売上増となった、昨年より売上が増加したとする企業が多くあった。反面、原油高、円安から経費増、原材料費高となっており、売上増加が収益に直結していない。

○耐震補強工事で作州地域もミニバブルの様相を呈するとの声もあった。そのため建設材料の需要が増加し、材料価格が上昇している。また工事増により、人材確保、下請事業者の確保も困難となってきている。

○大手住宅メーカーは、好立地の土地を手当てし建築条件付きで販売するなど好調であるが地場の中小工務店は新築物件の獲得に苦戦している。そのため、県南へ営業エリアを広げる工務店や新築よりリフォームに注力している工務店が複数あった。

○成長分野である農業に着目し、農業機械部品製造で増産に取り組んでいる企業や果実分野で農業を検討している企業があった。

○自動車小売店やガソリンスタンドが、自動車修理・保守点検業務に力を入れており同業者間の競争が激しくなっているとの声があった。

○補助金申請で、企業間の連携やグループ化が条件で手続きをするケースが多くなっており、手続きの複雑化と多くの資料作成が負担となっているとの声があった。

以上

■調査要領■

■調査対象■

1. 調査対象

当金庫営業エリア内の中小企業

2. 調査時期

2013年5月21日～6月7日

3. 調査方法

当金庫職員による訪問聞き取り調査

4. 分析方法

D I を中心に分析

5. 季節変動について

業況判断D I は、毎年1～3月期に低下し、4～6月期に上昇するという季節的な変動（季節変動）がありますが、当金庫の分析においては季節変動の調整（季節調整）は行っておりません。

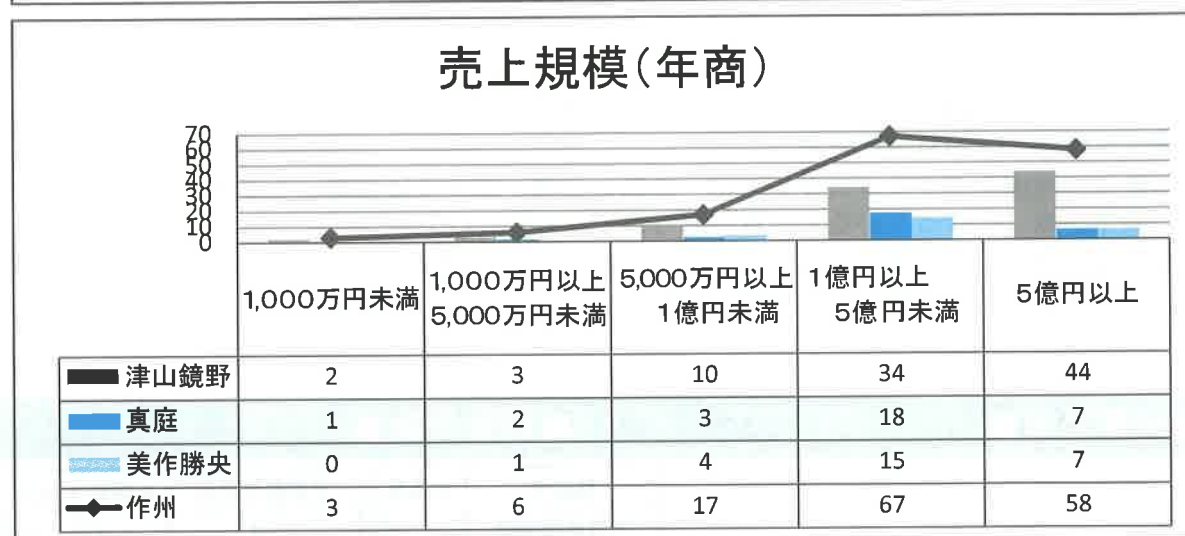
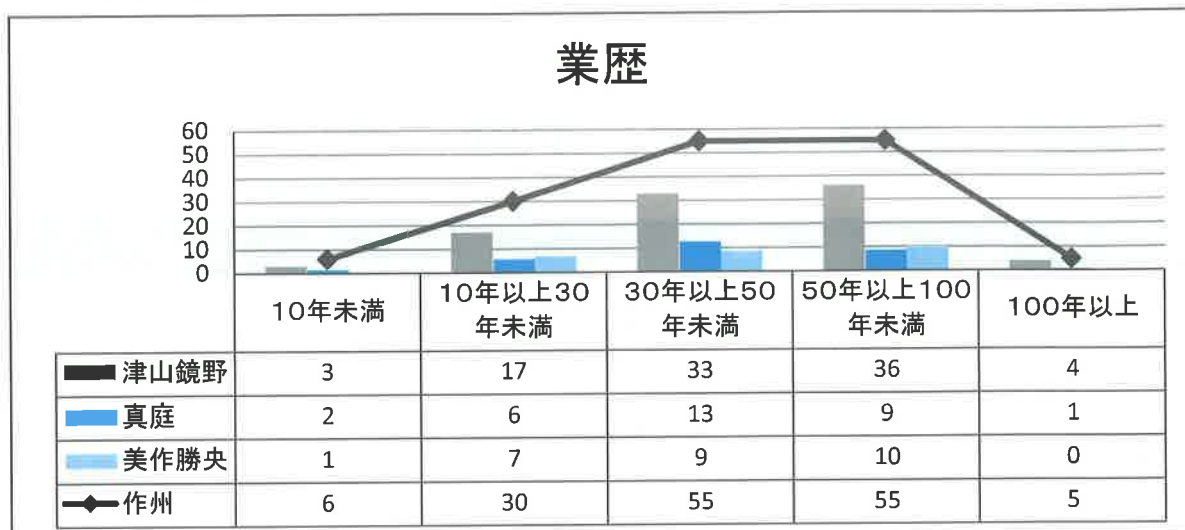
※ 本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。また、掲載資料は正確性・安全性を保証するものではありません。

地区別	企業数	従業員規模別	企業数	比率
津山鏡野地域	93	1～4人	17	11.3%
真庭地域	31	5～9人	28	18.5%
美作勝央地域	27	10～19人	41	27.2%
総計	151	20～29人	22	14.6%
業種別	企業数	30～39人	11	7.3%
製造業	51	40～49人	8	5.3%
建設業	26	50～99人	10	6.6%
卸売業	14	100～199人	8	5.3%
小売業	23	200～300人	6	4.0%
不動産業	10	総計	151	100.0%
サービス業	27			
総計	151			

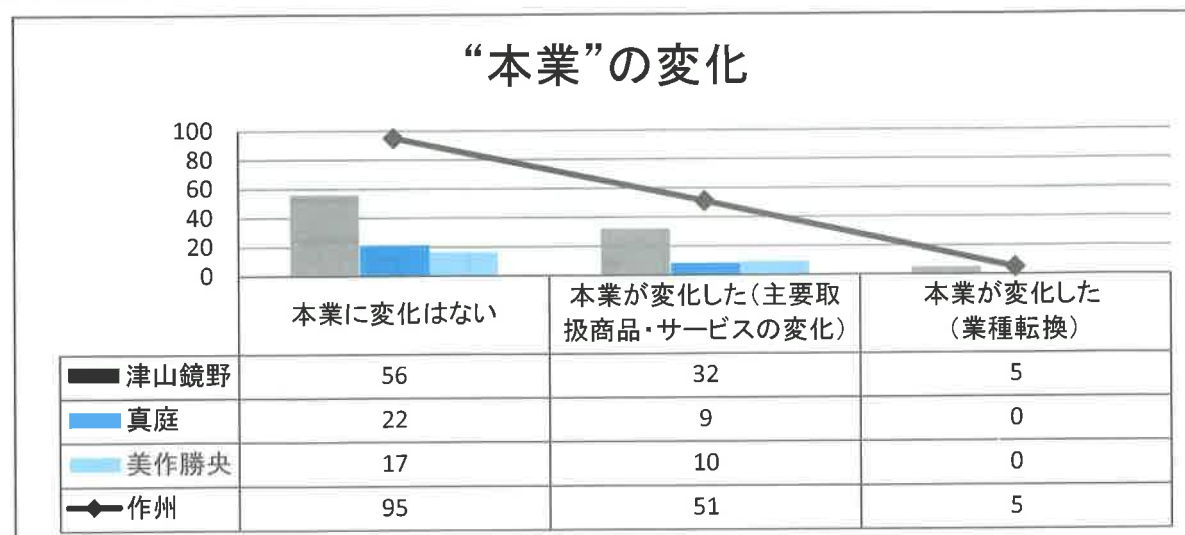
☆☆☆ 特別調査 ☆☆☆

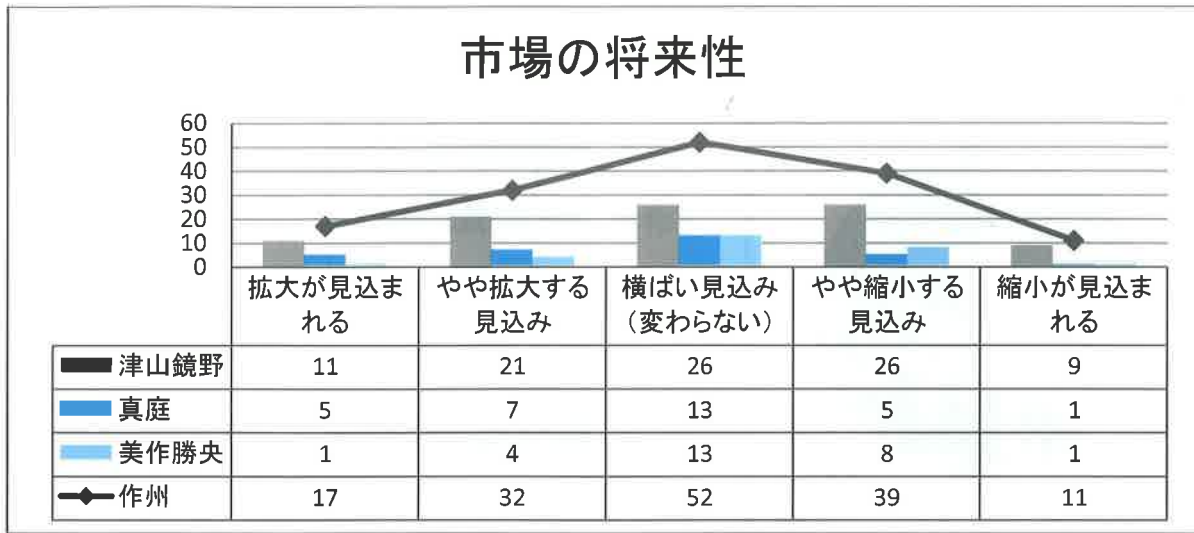
「中小企業における“本業”の現状と今後について」

問1. 貴社の業歴について、該当するものを1つお答えください。また、貴社の売上規模（年商）について、該当するものを1つお答えください。

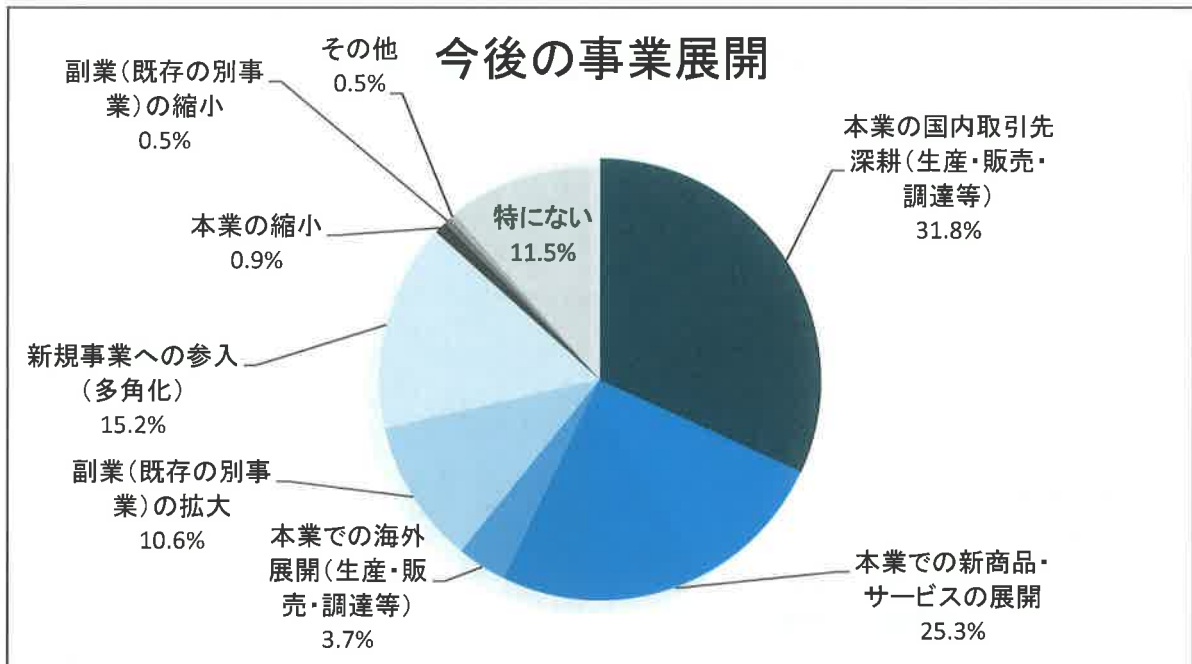


問2. 貴社では、創業時と現在を比較して、“本業”（売上額の最大構成事業）に変化はありましたか。また、現在の貴社の本業に係る市場の将来性（今後5～10年程度の市場の推移見通し）についてどのように認識していますか。

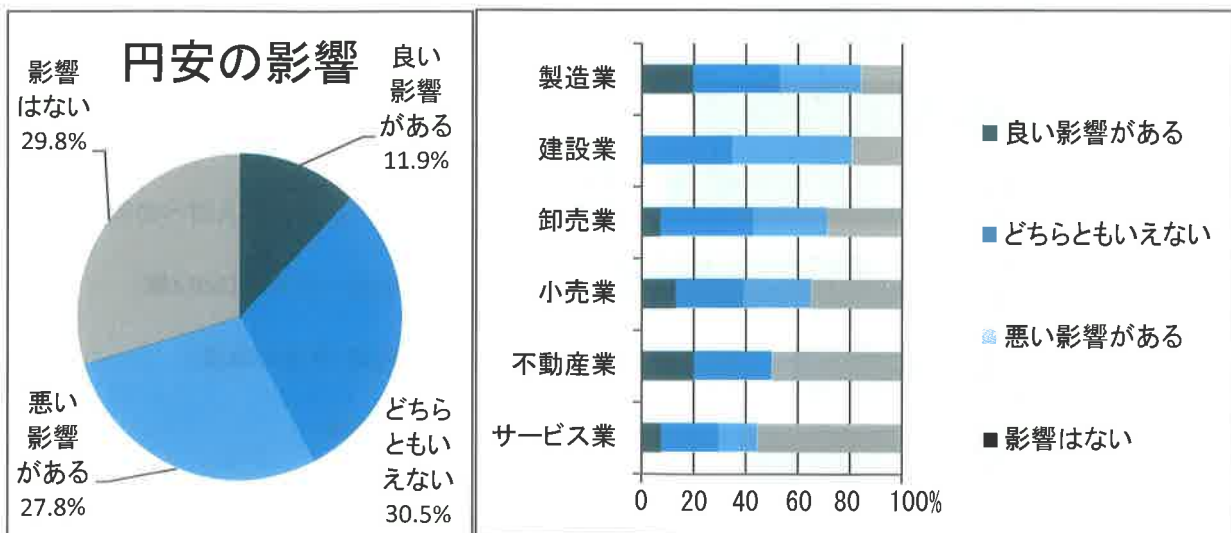


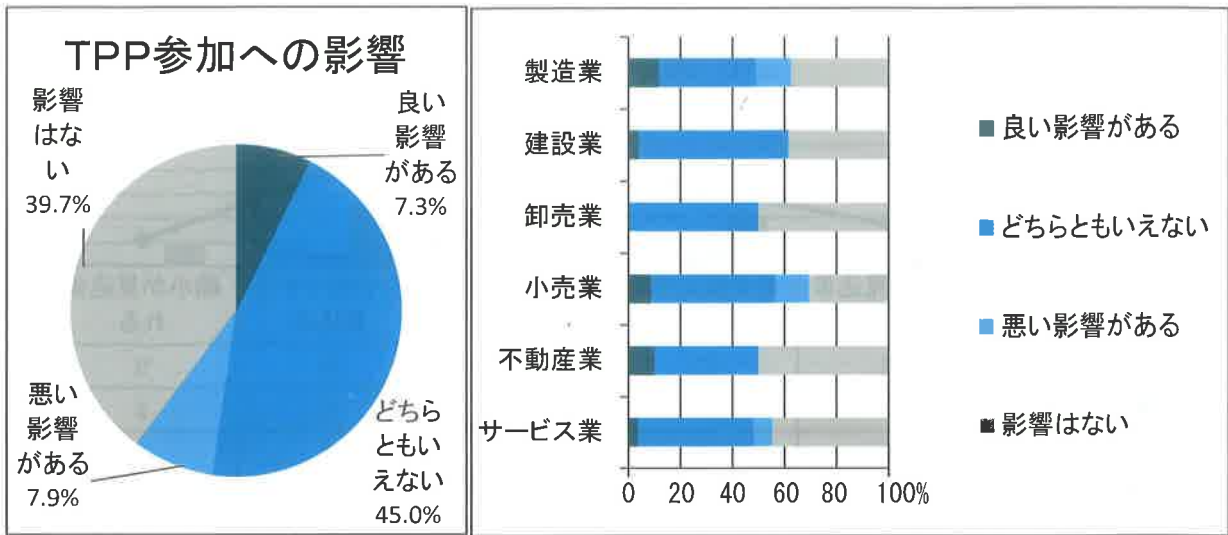


問3. 貴社では、今後どのような事業展開を実施・検討することが想定されますか。

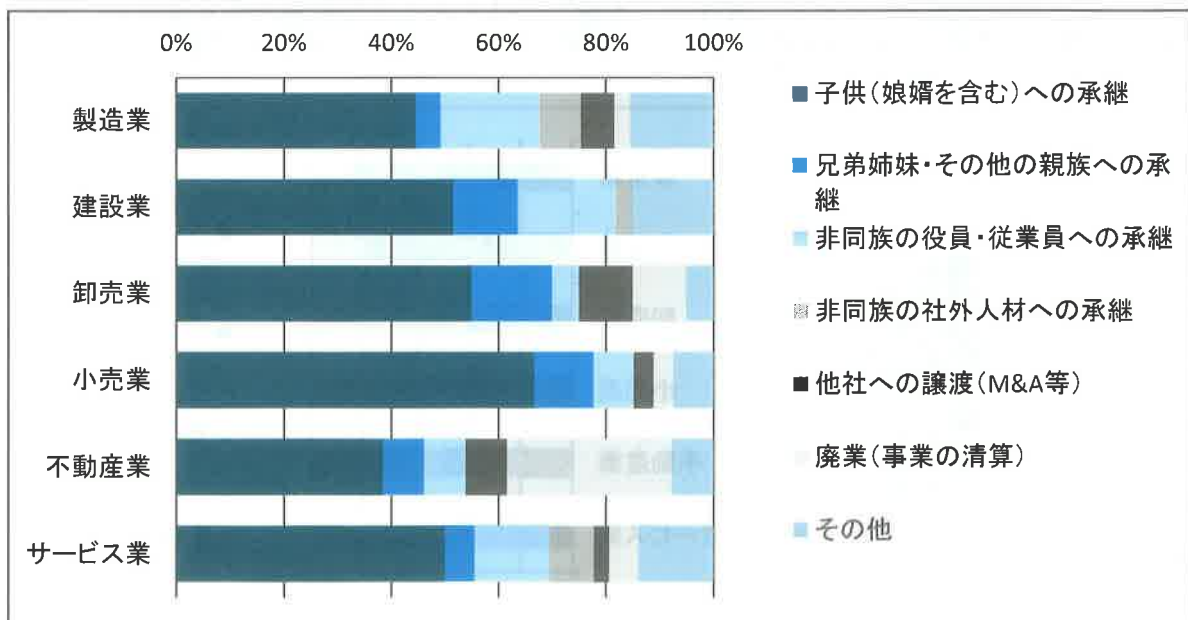
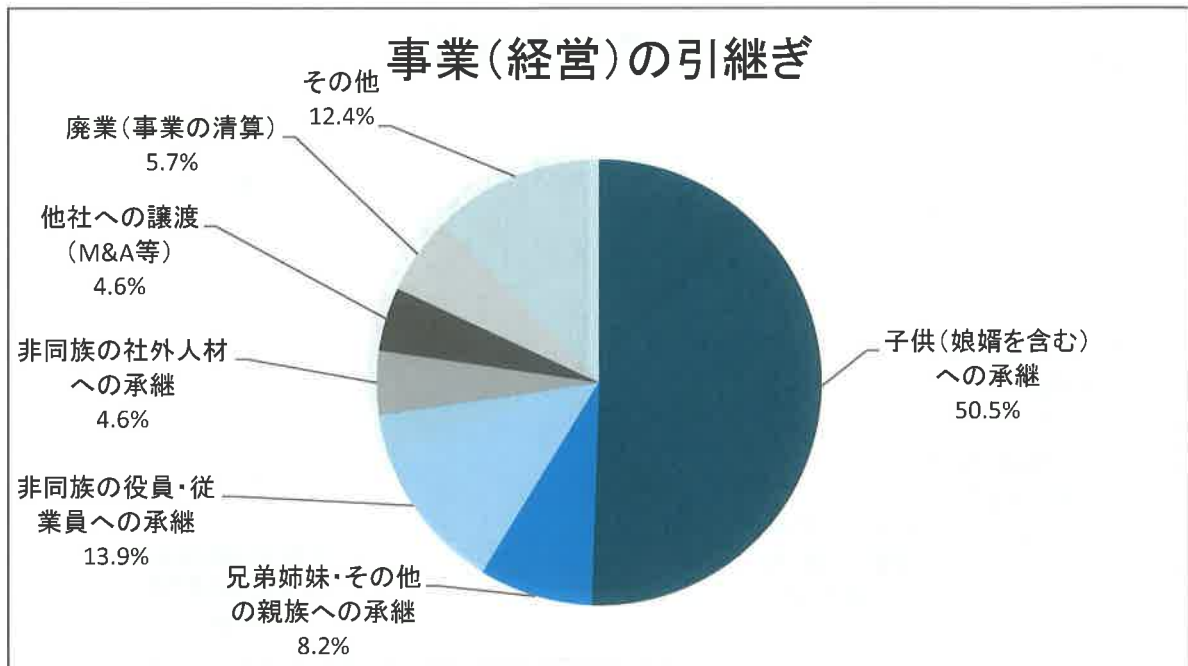


問4. 昨今の円安傾向によって、貴社の“本業”にはどのような影響がありますか。また、T P P（環太平洋戦略的経済連携協定）への参加が決まった場合、貴社の“本業”にはどのような影響があると考えられますか。

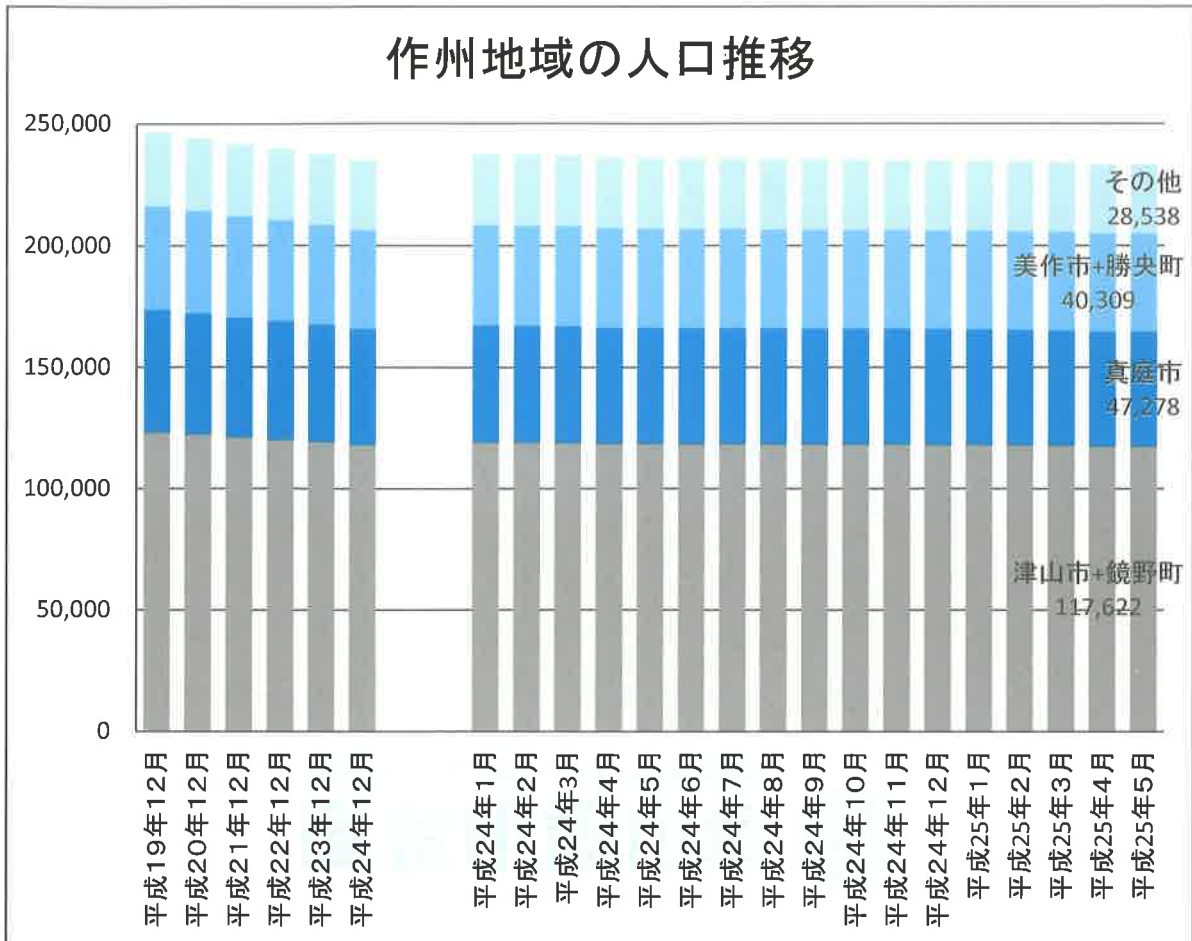




問5. 貴社では、将来的な事業（経営）の引継ぎに際して、どのような選択肢を想定・検討しますか。



(参考) 作州地域の人口推移



岡山県人口約193万人の内、作州地域の人口は233,747人で12.1%の割合となっており、その割合は毎年徐々に減少している。地域住民の高齢化と少子化が続いていると推測され、作州地域を商圏とする企業の経営上の問題点となっている。

■ 作州地域のパートナー ・ よろず相談信用金庫 ■

●本調査は、信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」の調査表を使用しています。信金中央金庫の『中小企業景況レポート』は、全国約16,000社の中小企業を全国270の信用金庫職員が面接により調査したものです。

●当金庫が目指す姿は「作州地域のパートナー」です。その意図は、「我々は、主役であるお客様や地域を支える「パートナー」でありたい。よき脇役、よき裏方として、お客様と相互理解の下、切磋琢磨し、お互いに高め合う存在でありたい」というものです。本業を真剣に取り組み、我々の意見にも耳を傾けて頂き、協力し合えるお客様を我々はお手伝い致します。

●顧客サービスの充実を目指す意気込みを込めて「よろず相談信用金庫」という新キャッチフレーズを定めました。また、具体的なアクション部隊として「地域創造課」を新設しました。地域創造課では、景況調査、創業支援、海外進出支援、M&A支援、事業承継支援、地域振興支援、そして私募債の発行支援等々、地域とお客様の役に立つ活動に取り組んでいきます。

●第9回しんきん合同ビジネス交流会（平成25年9月11日（水）10:00～16:00、コンベックス岡山）が開催されます。県内全域から幅広い業種の企業様が参加されます。お気軽にご参加いただき、ビジネス交流・商談を進めてください。

●この夏はつしんへ「サマーキャンペーン」（平成25年8月30日（金）まで）の取扱をしています。新しくお取引を開始するお客様は、ぜひこの機会に特別金利でお預けください。



岡山県津山市山下30-15

0868-22-4121

営業支援部

(担当：杉山裕昭)